



ナイター設備が設けられた両翼99m中堅122mの本格的硬式野球場

札幌スタジアム

SAPPORO STADIUM

私財を投じて実現した 札幌初の屋外硬式ナイター球場

札幌市清田区真栄、緑豊かな山麓に位置する札幌スタジアムは、両翼99m中堅122mの本格的野球場。1992年に社会人野球チームの専用球場として竣工した球場は2005年に野球部が廃止されてから、ほとんど一般利用されてこなかった。その状態を憂慮したのがスポーツ医療に力を入れる羊ヶ丘病院 理事長の岡村 健司氏。札幌市内には野球場が少なく、硬式野球公式戦を行える野球場は3球場だけでナイター照明設備を備えた屋外硬式球場はなかった。「選歴を迎え、野球を愛する札幌の次の世代に何が

遺せるかを考えていた時に、売りに出ている球場を見て即決した。どうせやるなら中途半端な球場にしたいはなかったので、LED照明塔を6基設け、夜間の硬式試合を可能にした」と語る岡村氏。バッテリー間750 lx、内野500 lx、外野300 lxの平均照度が確保されている。また、22m×40mの屋内練習場はフットサルの正式試合も可能な多目的施設。「子供の頃から野球に育てられた恩返しをしたかった。青少年の育成や野球の発展に少しでも寄与できればと考えて、きっかけを作った。北海道のアマチュア野球の拠点になってほしいし、野球以外にも皆で長く使ってもらいたい」と熱く語る。

札幌スタジアム

所在地／北海道札幌市清田区真栄
 事業主／一般社団法人札幌スタジアム
 設備コンサルティング／株式会社システムセーブエナテック
 施工／有限会社東和電工
 電気工事／有限会社東和電工
 竣工／2016年7月



硬式ナイター競技レクリエーションレベルが可能なバッテリー間750 lx、内野500 lx、外野300 lxの平均照度が確保されている



フットサルの正式試合も可能な22m×40m屋内練習場



高さ14.8mのポールに取り付けられた
モジュールタイプ投光器



屋内練習場の
LED高天井用照明器具

詳細はウェブサイトをご参照ください。



主な設備

- 2000形LEDモジュールタイプ投光器72台(6基)
- LED高天井用照明器具